



図-3. 1. 12(3) 表層土壌の状況

3.1.4 地形及び地質の状況

(1) 地形

1) 地形の区分及び分布状況

調査対象地域における地形の状況を図-3.1.13 に示します。

調査対象地域の地形は、海成段丘の発達した平坦な島で、種子島の最高点は282m、対象事業実施区域の最高点は71mです。対象事業実施区域の地形分類図によると、岩石台地が広く分布しています。また、所々に丘陵地がみられます。南部と東部に位置する河川の周辺には、谷底平野が分布しています。海岸沿いに礫が分布し、その少し内陸には崖が分布しています。

(2) 地質

1) 地質の区分及び分布状況

調査対象地域における地質の状況を図-3.1.14 に示します。

これによると、対象事業実施区域は、砂岩と砂岩・頁岩互層が、縦縞状に分布している様子がみられます。

また、「土地分類基本調査 種子島（種子島南部・種子島中部・種子島北部）」（1980年、鹿児島県）によると、調査対象地域の地質は、堅硬な砂岩・頁岩及びこれらの互層からなる古第三紀の熊毛層群が基底をなし、その上位を新第三紀の地層が不整合で覆っています。



凡例

- 対象事業実施区域
- 対象事業実施区域(港湾施設)

0 0.5 1 2 km

1:40,000



丘陵地		丘陵地(Ⅱ)	低地		磯
台地		岩石台地			浜
低地		谷底平野	副分類		崖

出典：「5万分の1土地分類基本調査図 地形分類図 種子島（種子島南部・種子島中部・種子島北部）
（国土調査昭和55年8月11日指定（国土庁告示第1号）」

図-3.1.13(1) 地形の状況